



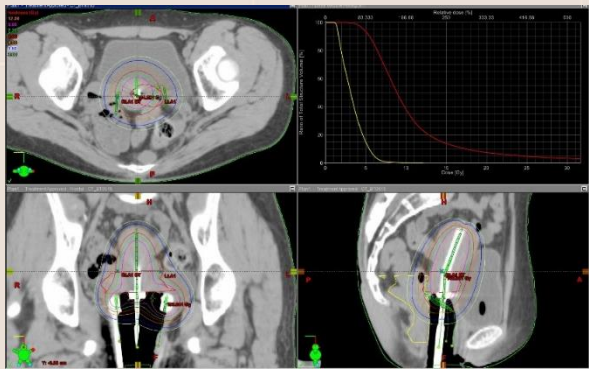
秋田大学では小線源 放射線治療を行っています

小線源放射線治療とは
放射性同位元素を病巣に近接させて照射することで
病巣に最大の効果をもたらし、かつ、
正常組織への影響を最小限にする放射線治療です。

子宮腔内密封小線源治療 (RALS)



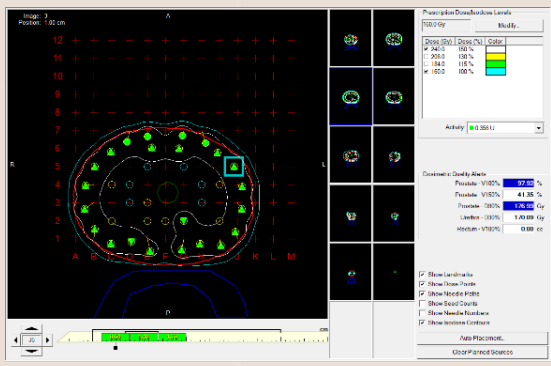
秋田大学では2019年度から、子宮頸がんの腔内照射ではCT画像に基づいて線量分布を計画する手法 (3D-IGBT) を行っています。



3D-IGBTではCTやMRIを
を治療計画に用いること
で、患者さん毎の病巣の
形状に合わせた線量分布
を作成し、治療すること
が可能になりました。

前立腺がん密封小線源放射線治療

泌尿器科と連携してヨード線源を利用した永久刺入小線源治療を行っています。
手術療法と同等の高い治療効果が期待できます。



125-ヨード小線源治療時の線量分布図
前立腺に高線量が投与されています。

患者様のご紹介・ご相談はお気軽に
放射線治療科外来までご連絡ください。